

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Copy for members

2020
July

7



ガバナー月信
Vol. 1

To Club Presidents and Secretaries in District 2790(CHIBA)



勝浦市のシンボルとされる「尾名浦のめがね岩」から豊かな海と市街を望む。



日本のロータリー 100 周年

米山 梅吉 (1868 ~ 1946)

1920 年世界 855 番目の RC (東京 RC) を創立し、日本に初めてロータリーを導入した。東京 RC の初代会長に就任し、1924 年には R I のスペシャル・コミッショナーになり、日本のロータリーの発展の基礎を築いてくれた偉大な人である。1952 年、東京 RC は彼の功績を記念し、日本で学ぶ外国人留学生に対して支援を行う米山奨学制度を構想しました。現在の (公財) ロータリー米山記念奨学会です。静岡県駿東郡長泉町上土狩に、財団法人米山梅吉記念館があり、その近くに墓所がある。

国際ロータリー第2790地区 ガバナー 漆原 摂子

地区スローガン「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」



ロータリーは機会の扉を開く

「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」

(The Ideal of Service)



2020-21 年度国際ロータリー ボルガー・クナーク会長ご夫妻と漆原摂子ガバナー

国際ロータリー第 2790 地区

2020-21 年度 ガバナー 漆原 摂子 (勝浦RC)

100 年に一度の出来事

本格的な夏の始動を前に、ロータリーの新年度がスタート致しました。ご周知の通り、今年度は日本にロータリーが初めて設立されてから 100 年の節目の年ですが、同時に 100 年に一度と申すに匹敵するコロナ禍に、全世界が翻弄されております。

この、目に見えない厄介な新参者は、日本でも多くの方々の命を奪い、学生は教室に集うことが叶わず、企業活動の多くを休止へと至らしめました。この時期、人々や物資の動きは遮断され経済活動が抑制されたことで、8 月中旬に発表される 4-6 月期の GDP 予測は戦後最悪のマイナス 21% 超えと言われております。

コロナと共生～ With Corona ～の今

そして今皆様は、再度新型コロナウイルスが猛威をふるう第 2 波第 3 波に備えながら、行動と抑制を交互に粛々と実践されていることと存じます。不要不急の外出が制限された期間は、多くの方々が不自由や不満、ストレスを訴えられましたが、昭和一桁生まれで先の大戦を経験した両親より幼少時から聞いておりました戦時下の恐怖感や辛苦に比べると、その差は歴然としております。コロナと共生の形を取らざるを得ませんが、夫々が適切に自粛を取り入れた生活を実践することで、命を守ることは出来るのです。

パラダイムシフト

この厄災により、私たちは新しい生活様式の導入を余儀なくされました。しかしその中には今までとは全く

異なった視点・観点から物事を捉え行動に移すことで、より合理的で更なる成果を期待出来る事項もあります。既存の概念や価値観が劇的に変化をする、パラダイムシフトと呼ばれるものですが、このようなタイミングに立ち会うということは、人生において度々あるものではありません。とりわけ慎重に熟考し、何を実施し何を実施しないかを考える必要があります。

Connect(つながり)から Opportunity(機会)へ

2019-20 年 RI テーマのキーワード、Connect(つながり)は、この危機的時期だからこそ大切にしなければなりません。家族をはじめ職場、コミュニティそしてそれぞれのクラブ会員こそが、まずはお互いの健康・安全を第一に、つながりを絶やすことなく、思いやり・寛容の心をもって支え合うことです。

そして 2020-21 年度 RI テーマは「Rotary Opens Opportunities (ロータリーは機会の扉を開く)」です。クラブ会員の皆様が、諸活動を再開し個々を確立した上で主役となっただき、The Ideal of Service(奉仕の理念)、すなわち他人を思いやり他人の為になることを実践していただきたく思います。パラダイムシフトを踏まえ、新しい機会の扉は多々ございます。制限されたクラブ活動が続くとは思いますが、このような時だからこそ、クラブは明確な戦略計画を立て、個人として、クラブとして、ロータリアンらしい活動へのお取り組みを期待致しております。私達ロータリアンは、今こそ周囲の状況に対して適応力を高め、多様性を受け入れ、柔軟に対応してゆく時なのです。

2020-21 年度 公式訪問 グループ別日程表

グループ	クラブ名	月	日	曜日	例会
1	市川	10	8	木	昼
	市川東	11	10	火	昼
	市川南	8	5	水	昼
	浦安	9	11	金	昼
	市川シビック	8	3	月	夜
	浦安ベイ	9	24	木	夜
2	船橋	7	28	火	昼
	船橋西	7	31	金	昼
	鎌ヶ谷	8	27	木	昼
	船橋東	8	27	木	昼
	船橋南	8	26	水	昼
	船橋みなと	7	28	火	昼
3	千葉	9	28	月	昼
	新千葉	10	14	水	昼
	千葉西	10	20	火	昼
	千葉中央	10	22	木	昼
	千葉幕張	10	27	火	昼
	千葉東	8	31	月	夜
	千葉若潮	10	8	木	夜
4	千葉南	10	9	金	昼
	市原	11	4	水	昼
	千葉港	10	15	木	昼
	市原中央	9	8	火	昼
	千葉北	11	11	水	昼
	千葉緑	10	9	金	昼
5	木更津	9	3	木	昼
	上総	9	24	木	昼
	富津中央	7	30	木	昼
	木更津東	8	19	水	昼
	君津	8	24	月	昼
	袖ヶ浦	8	24	月	昼
	富津シティ	8	19	水	昼
6	館山	9	2	水	昼
	鴨川	9	18	金	昼
	勝浦	9	18	金	昼
	千倉	9	18	金	昼
	鋸南	9	2	水	昼
	館山ベイ	9	2	水	昼
7	茂原	8	20	木	昼
	東金	11	12	木	昼
	大原	11	5	火	昼

グループ	クラブ名	月	日	曜日	例会
7	大多喜	8	25	火	昼
	成田空港南	10	29	木	昼
	茂原中央	10	7	水	昼
	大網	10	7	水	昼
	東金ビュー	11	12	木	昼
8	銚子	9	9	水	昼
	旭	11	17	火	昼
	八日市場	11	17	火	昼
	銚子東	9	9	水	昼
9	佐原	9	17	木	昼
	多古	9	29	火	夜
	小見川	9	29	火	夜
	佐原香取	10	19	月	夜
10	成田	10	23	金	昼
	八街	10	13	火	昼
	印西	11	18	水	昼
	白井	11	16	月	昼
	富里	10	13	火	昼
	成田コスモポリタン	7	22	水	昼
11	柏	9	30	水	昼
	我孫子	9	29	火	昼
	柏西	9	25	金	昼
	柏東	9	10	木	昼
	柏南	10	6	火	昼
12	習志野	10	28	水	昼
	八千代	10	2	金	昼
	佐倉	10	21	水	昼
	八千代中央	10	2	金	昼
	四街道	10	21	水	昼
	習志野中央	10	28	水	昼
	佐倉中央	10	21	水	昼
13	松戸	9	23	水	昼
	松戸東	11	13	金	昼
	松戸北	9	23	水	昼
	松戸中央	9	1	火	昼
	松戸西	9	1	火	昼
14	野田	9	7	月	昼
	流山	10	1	木	昼
	野田東	9	7	月	昼
	流山中央	10	1	木	昼
	野田セントラル	9	7	月	昼

略 歷

氏 名 漆原 摂子（うるしばら せつこ）
 生 年 月 日 1964年（昭和39年）12月13日生
 所属クラブ 勝浦ロータリークラブ
 職 業 分 類 ホテル（ビーエイチエス株式会社）

【ロータリー歴】

2008年 勝浦ロータリークラブ入会
2011-12年度 クラブ幹事
2015-16年度 クラブ会長
2017-18年度 地区ロータリー研修委員

2017-18年度	ガバナーノミニー・デジグネート ガバナー補佐インターン ロータリー財団統括委員会 統括副委員長
2018-19年度	ガバナーノミニー
2019-20年度	ガバナーエレクト

【認 証】

メジャードナー
ベネファクター
ポール・ハリス・ソサエティー
米山功労者



2020 - 21 年度 国際ロータリー会長メッセージ ロータリーは機会の扉を開く

2020 - 21 年度 国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク
Herzogtum Lauenburg-Mölln ロータリークラブ(ドイツ)

ロータリーが唯一無二で、世界とシェアするに値する存在であるのはなぜでしょうか。皆さんご自身や奉仕の受益者に、どのような比類ない機会への扉を開くことができるでしょうか。

私たちは人との交わりを楽しみます。私たちは、異なる環境、異なる世代、言葉、文化をもっています。ロータリーでの過ごし方でさえ、国によって、またクラブによって異なります。この多様性こそが、ロータリーを素晴らしいものとしているのです。

私たちは、共有する価値観の下に集まっています。私たちは皆、固い友情でつながり、「四つのテスト」を信じています。ロータリーを経験する方法はいたるところで異なりますが、「四つのテスト」は誰にとっても同じです。

ロータリーは、奉仕プロジェクトを実施し、やり遂げる機会を与えてくれます。これらは、意義があり、持続可能なプロジェクトです。ロータリーでは、寄付だけでなく、奉仕活動も行い、その奉仕がもたらす持続可能なインパクトをこの目で見るができます。これは、他にはない機会です。

ロータリーは、奉仕のアイデアを実行に移すために、世界を旅する機会を私たちの多くに与えてきました。

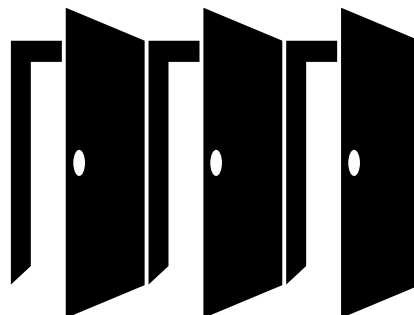
ロータリーはまた、リーダーシップの機会も与えてくれます。これは、自分自身の栄光のためでなく、ロータリーのために、ロータリーのネットワークを強化する機会です。人びとのためにリーダーシップへの道を切り開いてあげることこそ、真のロータリーの理念であり、そうすることで皆さん自身がより効果的なリーダーとなります。

私たちがここにきたのは、ロータリーがもたらす機会を信じているからです。それは、ほかの人びと

にとっての機会であり、私たち自身にとっての機会です。奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生みだすものであると信じています。

ご存知の通り、ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、無限の機会への招待です。ポリオ根絶のように大規模で歴史的なプロジェクトから、地域社会でのささやかなプロジェクトや1本の植樹まで、奉仕する機会への扉を開いてくれます。

私たちの中核的価値観を基に、世界中の友人たちとともに、より豊かで意義ある人生への機会の扉を開いてくれます。私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いているのです。



ロータリーは機会の扉を開く

略 歴

ホルガー・クナーク (Herzogtum Lauenburg-Möllnロータリークラブ所属 ドイツ)

1992年にロータリー入会。ロータリーの財務長、理事、モデレーター、各種委員会の委員や委員長、規定審議会代表議員、ゾーンコーディネーター、研修リーダー地区ガバナー、2019年ハンブルグ国際大会ホスト組織委員会の共同委員長を歴任。現在は恒久基金／大口寄付アドバイザーを務める。

不動産業を営む「Knaack KG」のCEO。125年続く家族事業の「Knaack Enterprises」の元パートナー兼ゼネラルマネジャー。

地域社会では、ラッツェブルク市市民財団の創設メンバーであり、Gut Grambekゴルフクラブの会長を務めた経験をもつ。カール・アダム財団の会長で創設者。

スザンヌ夫人とともにメジャードナー、遺贈友の会会員としてロータリー財団を支援。



新しい時代の扉が開かれました！

国際ロータリー第 2790 地区

2020-21 年度副ガバナー 諸岡 靖彦

(成田 RC)

2020 年は新型コロナウイルスが中国・武漢市で感染がひろがっているというニュースで幕が開きました。現況(5月末)は、日本国内ではようやく第一波の感染が押さえ込まれた段階まで来ましたが、世界全体で感染者は既に 550 万人を越え、死者は 35 万人に迫り、中南米やアフリカでは感染の拡大局面にあります。世界中の人びとの交流は一勢に凍結され、経済は一瞬にして蒸発しました。コロナが時代の扉を力づくでこじ開けたのです。

しかし 2020-21 年度を迎えるために、漆原摂子ガバナーエレクト(当時)は 3 大セミナーにオンライン方式を取り入れることで、果敢に時代適応の機会の扉を開くことに挑み、この流れを主導することに成功しました。賞賛すべき第一歩です。漆原ガバナーエレクトのしなやかな対応に拍手を贈ります。

さて、新型コロナウイルスがもたらした人びとの混乱は、コロナ以前と比べて想像を絶する変化となって現れることを予想させます。国際通貨基金(IMF)は 4 月の世界経済見通しで、世界経済の成長率は 2020 年にマイナス 3% と大幅な縮小を予想するとともに、このパンデミックが極端な不確実性を伴うとしています。各国の感染の経過、拡散防止措置の厳格さや有効性、必要物資の供給の混乱の度合い、世界の金融市場環境の激変、人々の支出パターンの変化、行動変容(消費者が三密を避けるようになるなど)、景況観への影響、一次産品価格の激しい価格変動その他重層的危機に直面していることから、さらに厳しい結果となるリスクは高い、と分析しています。つまり人びとの生活様式の基盤と事業活動の基盤には危機的な状況が数年に亘ってつづくことを覚悟しなければならないのです。

世界経済がこれほどの危機に直面したのは、

1930 年代の大恐慌時代でした。当時は国際的な金融セーフティネットが存在せず、無益な自国中心の決済流動性を我先にと競ったことがかえって世界的不況を激化させました。パンデミックの克服と経済復興の両面で、多国間の国際協調が強力に進められなければなりません。

こうした社会経済的な背景から、ロータリー・リーダーが考えなければならないことは先ずクラブや地区の会員基盤のことです。新年度にどれだけの会員が「ロータリーの灯」の下に集まってくれるかということです。前年度の後半、特に第 4 四半期の 4～6 月にクラブや地区が、従来の観念では「制約」と思われていた通念にどれだけ新しい発想を取り入れて活動していたかということが問われます。クラブや地区という寄合いの求心力とは何であったのかということです。会員の多くが何を「ロータリーに集まることの意義」としていたかということでもあります。クラブの再結集を如何に図るかということです。

ロータリーがクラブをつくり、集う意義は、共に世界の平和を願い、地域社会の交流とつながりを育てるために、多様な仲間を結びつけてゆくことの大切さを思うことです。本年秋に迎える日本のロータリー 100 周年は、まっさらな気持ちで、この思いを新たにする、またとないチャンスです。漆原摂子ガバナーのリーダーシップを、大いに期待するものです。



2020-21 漆原年度のスタートにあたって 今こそロータリーの理念(奉仕の理念)の発揚を

国際ロータリー第 2790 地区

2020 - 21 年度地区研修リーダー

パストガバナー **青木 貞雄**

(成田コスモポリタン RC)

新型コロナウイルス感染症、及びその社会生活に与える影響の今後の予測は困難ですが、緊急事態宣言が全国的に解除されると共に、発表された社会活動再開過程を見ると（5月26日現在）、漆原年度は、何とか、通常に近い形でのスタートが可能となりました。

しかし、1月中旬に日本初の感染者確認、3月初旬以降の国・地方自治体等による3密回避、及び外出自主規制、また4月7日の緊急事態宣言等により、漆原年度に向けた準備手続きは、大きな制約・修正を求められました。3大セミナーのうち、DTA（地区研修・協議会）及び第2回 PETS（会長エレクト研修セミナー）は、史上初の YouTube 動画配信による合同会議となりました。幸い次年度地区予算案に皆様の承認をいただき、何とか新年度を迎えることが出来ました。

さて、皆様のクラブにおいても、例会の長期中止と活動模索、更には経済活動制約の会員事業への影響等、多くの課題を抱えていると推察します。

未体験の厳しい状況ですが、私達は今こそロータリーの理念（奉仕の理念）、即ち「他の人のためになること」の実践が求められています。5大奉仕の1番目はクラブ奉仕です。手助けを求めている仲間の手を差し伸べましょう。今まで築き上げてきた仲間との友好の絆の結晶を結実させるのは今です。

複数クラブより地区分担金見直し要望が出ていますが、事業計画に基づき予算配分を行った現時点で、地区分担金減額は困難です。しかし、クラブ年会費に占める比重が大きい例会費等は、見直しの余地があるのではないのでしょうか。日本の例会は、9割強が昼食付き昼開催ですが、世界を見ると昼例会は5割以下で、中には昼食なし、あるいは昼食希望制・費用個人負担等のクラブも多数あります。また、喫茶のみの朝・夕例会も多々あります。若し、経済問題で退会を考える会員がいたら、例会運営形態再考により仲間の離脱を避ける工夫も一考です。

5大奉仕の2番目は職業奉仕です。ロータリーの目的に基づき、私達は、自らの職業を高潔なものにすると共に、社会に奉仕する機会とすべきです。そ

して、医療関係等でコロナ禍に対応している会員がいたら、励ますと共に出来る範囲での協力・支援をしましょう。3番目は社会奉仕です。私達の周りには、現在、困って助けを求めている人が多数います。身近な子ども食堂・学習の支援等、クラブが何を出来るかを考え、他の人の役に立つことを実践する好機です。結果的にロータリーの認知度が高まり、仲間の拡大に繋がるでしょう。

ホルガー・クナーク RI 会長は、ロータリーには他の人のためになることをする無数の扉・機会があると言っています。そして、漆原摂子ガバナーは、「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」求めています。

新型コロナ禍の今こそ、私達は閉じこもらずロータリーの理念を発揚して仲間を支援し、また、助けを求めている人のためになることを実践しましょう。

漆原ガバナーは、感染症の先行きを危惧し、管理運営統括委員会に、双方向通信「ZOOM」活用例会の運営研修会実施を指示しました。例え、会員が顔を揃える例会を開催できない場合でも、情報・意見交換の方策はいくちもあります。感染症で巣ごもりするのではなく、紙上ロータリー勉強会、また仲間、及び外部への奉仕等、工夫を凝らした活動継続への挑戦が求められます。

漆原ガバナーと地区チームは、常に皆様の活動を支援する体制を整えています。主役であるクラブの会長以下の皆様は、英知と協力体制を結集して、活動活性化、及び仲間の絆の深化に努めて下さい。

私達を取巻く環境は決して安易ではありませんが、漆原ガバナー指導の下、皆様のクラブの活動が輝く一年となるよう願っています。

ガバナー補佐就任にあたって



「中長期戦略計画の実践に向けて」

ガバナー補佐
第1グループ担当

宮崎 俊雄（浦安RC）

今年は新型コロナウイルスが世界中に深刻な影響を与えています。一日も早い収束を願うものです。又今年2020年は日本に最初のロータリークラブが設立されて100年を迎える記念すべき年です。

さてホルガー・クナークRI会長は「ロータリーは機会の扉を開く」というテーマを発表されました。そして漆原摂子ガバナーは「クラブが主役となり奉

仕の理念の実践を！」の地区スローガンを打ち出されました。

第1グループ6クラブはそれぞれの歴史や活動経過も異なり、良い点も又課題もあろうかと思えます。そこで各クラブに中長期の戦略計画の立案をお願いし、5年後10年後の理想とするクラブのあり方を話し合っていただきたいと思えます。そのことがクラブの課題を解決し、地区スローガンの「クラブが主役となり奉仕の理念の実践を！」に結実すると信じます。今年一年間皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。



「ガバナー補佐就任にあたって」

ガバナー補佐
第2グループ担当

徳永 昌子（鎌ヶ谷RC）

第2グループは船橋市内5クラブと鎌ヶ谷クラブと合わせて6クラブ149名の会員構成です職業も様々です。様々な環境の中、考え方も全く違います。しかし、ロータリークラブの仲間、友人というつながりで各クラブが7月から友情を深めて行くにはどの様にしてゆけばよいかを問われるところだと思います。

漆原摂子ガバナーは各クラブの中長期的戦略を計画し実践すること、とされており。例会はロータリーの学びの場と考え会長の挨拶はロータリーの話をししょう。自分の職業でどのように奉仕をするのか、また地域にどうかかわって社会奉仕をするのかなどテーマを決め課題として会員に問いかけ、ともに学んでゆくことが大切です。そのことが自分にとって良い変化に繋がるのだと思えます。

1年間ではありますが、お付き合いのほどよろしくお願い致します。

新型コロナウイルスで世間は大騒ぎですが負けずに頑張りましょう。



「ガバナー補佐就任にあたって」

ガバナー補佐
第3グループ担当

藤澤 武彦（千葉RC）

第3グループには第2790地区で最も古い千葉クラブを含め7クラブがあり、各クラブとも千葉市およびその周辺地域で活発な奉仕活動を展開しています。漆原摂子ガバナーは諸岡靖彦ガバナー年度からの基本を引き継ぐとともに、新型コロナウイルスとの共生下に在って「30人未満のクラブの基盤強化」と「女性会員の10%目標」を優先事項として挙げ

られ、また各クラブに中長期計画を立案するよう強く求められています。第3グループには本年1月1日時点で女性会員数がゼロのクラブもあり、また中長期計画を立案していないクラブも存在しています。漆原ガバナーのスローガンである「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」の意を介して、ガバナー補佐として上記優先検討課題を含める諸活動の実践を通してクラブ基盤の強化を支援するとともに、各クラブの特長をさらに伸ばしていただくよう努力して参ります。宜しくお願いします。

ガバナー補佐就任にあたって



「ガバナー補佐就任にあたって」

ガバナー補佐
第4グループ担当

外立 徹（千葉北RC）

新型コロナウイルス蔓延によって多くの社会活動が制限されています。ロータリーも例外ではなく、例会はじめ諸会議の開催がままならず、クラブ運営の先行きに懸念を感じています。RIは「ロータリアンの健康と安全が何よりも重要である。」ことから、ロータリー活動の規則と指針を採択しました。2020年末まで直接顔を合わせてする会合は実施せ

ず、オンラインでの実施を推奨することです。既に地区では「YouTube」による地区研修・協議会が配信・実施され、クラブにおいても今後のロータリー活動の有様を模索する一年となりそうです。ホルガー・クナークRI会長メッセージ及び漆原摂子ガバナーの掲げる四つの戦略的優先事項・スローガン等を熟慮して、コロナ禍が終息し従前の社会情勢に戻るまで、実践可能な奉仕活動は在るか？を精査して、在ればそれを実践しましょう。無ければ見方を変え、この時を捉えてロータリーの奉仕理念（奉仕のあるべき姿・諸原則）を改めて学び、ロータリーの奉仕の哲学を理解する一年であっても良いのではないのでしょうか。



「一人のロータリアンとして」

ガバナー補佐
第5グループ担当

窪田 謙（富津シティRC）

2020-21年度RI会長は、「ロータリーは機会の扉を開く」をテーマに掲げました。

現在世界中に猛威を奮っている新型コロナウイルスに対して、何を行うべきか、どのように行動するべきか、そしてその行動は誰かの為になるのかとの想いに共感を覚えます。一人のロータリアンとしてロータリーの仲間と話し合いアイデアを考え、行動

に移し、この困難な状況を変えるべく機会の扉を開く事が出来ると確信しております。実現にはクラブの客観的な魅力や新たな奉仕活動の実践、そして新たな仲間が必要です。地区スローガン「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」を漆原摂子ガバナーは掲げられました。このスローガンに沿い各クラブの皆様研修等を推奨させていただきます。

最後に皆様と一緒に親睦を図りながら地区そして各クラブの皆様のご指導ご協力を賜り、ガバナー補佐として皆様のご期待に沿えるよう精進してまいりますので、宜しくお願い申し上げます。



「適応力を高め未来のクラブを構築しよう」

ガバナー補佐
第6グループ担当

三橋 美子（鋸南RC）

昨年9月の台風被災、や新型コロナウイルス感染症で、地域や生活が一変してしまったと感じておられる会員は少なく無いと思われます。このような社会状況の中で第6グループのガバナー補佐のお役を頂き、重責を感じております。

今年度のホルガー・クナークRI会長はテーマを「ロータリーは機会の扉を開く」と宣言されました。漆原摂子ガバナーは「扉の向こうには、私たちロータリアンが、自分自身を磨く為の新しい環境や学びの機会があるか

もしれない。あるいは困っている人々のために役立つ機会が待っているかもしれない。クラブ内の活動を通じて培われる親睦と方針も心の形成を基盤に、あらゆる場面で自分の為に、また他人の為に数々のサービスへ繋がる扉を個人でもクラブ単位でも、どんどん開いていきましょう。」と解釈し『クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を!』の地区スローガンを掲げられました。

研修や親睦活動を通じて、クラブの現状そしてロータリーの過去・現在を学び、将来を見据え柔軟に対応する能力を身に付けましょう。これは適応力を高めることになり、ひいては自クラブの未来を構築することへ繋がっています。

今年度は、クラブからグループへそして地区へと扉を一つずつ開いて行けるよう努力する所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ガバナー補佐就任にあたって



「ガバナー補佐就任にあたって」

ガバナー補佐
第7グループ担当

三枝 巖（茂原RC）

2020-21年度ガバナー補佐を務めさせていただきます、茂原ロータリークラブの三枝巖です。

私のロータリー歴は35年を過ぎました。先輩より、茂原クラブから第7グループのガバナー補佐をだすので、大変だろうけれども引き受け勉強してみないかと勧められ今に至っております。自分自身でも考え、長いロータリー活動で何か地区・クラブの為に貢献できればとの思いで引き受けることを決めました。

幾つかの会議、セミナーに参加し、ガバナー補佐の任務がガバナーの分身としてRI、地区方針を会員各位に連絡指導することだと認識し、ガバナーの方針を会員にいきわたるように全力を注ぎます。

RI会長ホルガー・クナーク氏は、「ロータリーは機会の扉を開く」を掲げました。これはロータリアンとして、あらゆる場面で奉仕に関する扉を開き、実践しようとの趣旨であると考えます。一年間、活動豊かに、有意義に進めていきたいと思います。皆様のご支援・ご指導を願います。どうぞ宜しくお願い致します。

5月15日現在、新型コロナウイルス問題で、クラブ例会や地区会議等が中止の状態です。オンライン会議も実施されておりますが、皆様方の無事と一日も早い終息を願い、地区指導に沿って行動します。



「好奇心」

ガバナー補佐
第8グループ担当

大塚 榮一（八日市場RC）

「日本のロータリー（東京RC＝1920年10月20日設立）が生まれる3年前、米山梅吉氏は当時三井銀行・常務取締役として遣米使節団に加わり、途中三井銀行支店（テキサス州・ダラス市）を訪問、支店長であった福島喜三次氏（後に米山梅吉さんとロータリーづくりでの尽力者となる）が既に入会をされていたロータリークラブへ初ゲスト訪問をされた」と有りました。「これはきっと彼の大きな好奇心＝何でも見ておこう、の現れでもある」と有りました。

そして本年2020年、日本のロータリー＝東京ロータリークラブがめでたく100周年という節目の年を迎えるわけで有ります。

本年、ホルガー・クナークRI会長のテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」と掲げられました。それを受け第2790地区漆原摂子ガバナーは「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」と、地区スローガンを掲げられました。目指す方向は“更に一步前へ”と。100年前、米山梅吉氏のロータリーへの思いと同様に積極的関与であり、大いなる好奇心を持ってロータリー活動への邁進を、と理解を致しました。

これからの1年間、第14グループのガバナー補佐の皆様方と共に漆原ガバナーを支え、「クラブが主役」を第8グループ＝4クラブそして地区の発展に微力ながら尽力してゆきたいと存じますので、皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。



「ガバナー補佐就任にあたって」

ガバナー補佐
第9グループ担当

飯田 武之（多古RC）

はじめまして、第9グループガバナー補佐の飯田武之と申します。当地区は佐原、香取地区の歴史的に繋がりの深く、各クラブの親睦も深い4クラブのグループです。

この親密な関係を生かして、ガバナーの意思伝達を図り、各クラブの活性化に努めて行きたいと思えます。

特に昨年7月にRIより発信された“4つの戦略的優先事項”のひとつの適応力を高める事に重きをおいて行きたいと思えます。

ロータリークラブの起源は、世界大恐慌の後、荒廃した経済環境のなかで、信用のおける仲間が集まって、互助会のような組織を作ったことが始まりだと聞いています。この新型コロナウイルスによる災いは、世界大恐慌以上だと思います。

こんな時こそ、今一度ロータリーの初心に帰り、助け合いながら、まず自分の会社、従業員を守り適応力を高め、柔軟なアイデア、行動力をもって第9グループ一同、アフターコロナの社会に貢献していきたいと思えます。

ガバナー補佐就任にあたって



「5年後・10年後のクラブを創造しよう」

ガバナー補佐
第10グループ担当

橋本 和治（印西RC）

今年度、第10グループのガバナー補佐を拝命致しました印西ロータリークラブの橋本和治です。

漆原摂子ガバナーは地区運営方針の中で、クラブの戦略計画・中期計画立案の推奨され、その中で「5年後のクラブを思いうかべ」と述べられています。大変に重要な視点だと思います。さらに私は10年

後のクラブの姿もイメージしてほしいと思います。

新型コロナウイルスの影響で、ロータリーの伝統的な活動に様々な制約がかかる今だからこそ、5年後・10年後を見据えて、新たな変化にチャレンジしていこうではありませんか。

これから一年、お世話になりますが、どうぞよろしくお願い致します。



「ガバナー補佐就任にあたって」

ガバナー補佐
第11グループ担当

鈴木 桂三（柏西RC）

2020年に入り新型コロナウイルスが猛威をふるう中、オリンピックも一年延期され、地区行事や例会すら開催できない混沌とした中で始まった新年度。意気揚々と迎えたいところですが現実には先が全く見通せません。このような状況下、今一度ロータリーの存在意義を考える良き機会なのかもしれません。

RIテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。

そして漆原摂子ガバナーの地区スローガンは「クラブが主体となり、奉仕の理念の実践を！」です。

私達第11グループの会員の中にも新型コロナウイルスの影響で精神的にも経済的にも打撃を受けている方も少なからずいらっしゃいます。ロータリーの基本哲学は「超我の奉仕」です。お互いに思いやり、困っている人々に救いの手を差し伸べる。この考え方をグローバルに広げたのがロータリーで云う奉仕の理念の実践です。

以上の事を念頭に第11グループの活動をして参ります。



「ガバナー補佐就任にあたって」

ガバナー補佐
第12グループ担当

佐藤 正直（四街道RC）

第12グループのガバナー補佐を拝名いたしました佐藤正直です。

2020年の年初より新型コロナウイルスの影響で例会、会合等が中止になり、活動が大きく制限されました。ロータリーへの意識も少し離れてきているかもしれません。このような時期だからこそ、クラブやクラブ会員が主役となり、奉仕の理想を実践す

るべきです。その為には親睦活動や趣味嗜好を通して語り合い、絆を深める事が大切であり、会員同士の意思疎通を図りながら明るく楽しい運営を心掛けていただきたいと思います。

奉仕の理想は心の奉仕と活動的な奉仕がありますが、どちらも重要です。

他人への思いやりや、為になる奉仕の活動により恩恵を受けた方が、その感動や経験を未来への行動として繋げていってもらうことが大切だと思います。

各クラブの会長、幹事、会員の力を借りて会員同士の輪を広げて行きたいと思います。微力ですが一年間で協力の程お願い致します。

ガバナー補佐就任にあたって



「コロナ禍の中でのロータリー活動」

ガバナー補佐
第13グループ担当

山田 正記（松戸西RC）

この原稿を書いている5月中旬の時点で、千葉県は新型コロナウイルスの感染拡大について特定警戒都道府県に入っており、緊急事態宣言がいつ解除されるのか、不明な状態でした。

ガバナー補佐の会議も、2月15日の第3回目以降開催されていません。

また、私の所属する松戸西ロータリークラブでは、

例会は、現在「ZOOM」を利用したオンライン例会で代替していますが、三密を避けるという見地から今後これが常態化するかもしれません。

新型コロナウイルスは、人類にとって未知のウイルスであり、新薬やワクチンが開発され、普及するまでは、感染を防止しつつロータリー活動を継続していかなければなりません。

会員の事業継続にも大きな影響を与えつつある中で、ロータリーの精神を地域社会でどう実践していくのか。ロータリーの真価が問われる一年になりそうです。



「ガバナー補佐就任にあたって」

ガバナー補佐
第14グループ担当

伊藤 義雄（野田RC）

2020-21年度は幕開け前から世界的な新型コロナウイルスによるパンデミックにみまわれております。

RI会長ホルガー・クナーク氏のテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を受け漆原摂子ガバナーは「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」というスローガンをたてられました。

私が所属する第14グループは5つのクラブから成り立っております。ただ残念ながら近年ロータ

リーの会員数が減っております。

RI会長の提言通り単なる会員数の増強だけに拘るのではなく、各クラブに合った慎重な会員選びをし、入会したらどうすれば積極的にそのクラブに関わり合いをもてるかということまた社会的、経済的にもダメージを受けている時ロータリーアンとしては何をすべきか等々を各クラブとも話し合っていきたいと考えております。

コロナ禍によりなかなか会合がもてない中で精一杯各クラブとも連絡を取り合い、一年間自分なりに努めさせていただく所存ですのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

ガバナーノミニー・デジグネート（2023-24年度ガバナー）候補者推薦のお願い

2020-21年度ガバナー 漆原 摂子
地区指名委員会委員長 寺嶋 哲生

国際ロータリー細則第12条ガバナーの指名と選挙(12.010、12.030.1、及び12.030.3項)に基づくガバナーノミニー・デジグネート(2023-24年度ガバナー)選出手続きを開始します。

候補者を推薦するクラブは、別途クラブオールでメール配信する推薦届出書、及び添付書類に必要事項を記入の上、遅くとも2020年9月8日(火)必着で、地区指名委員会委員長宛(第2790地区ガバナー事務所気付)に、郵送、FAX、あるいはEメールでお送りいただくようお願いします。

但し、候補者推薦にあたっては、クラブ例会で推薦を決議した後、クラブ幹事による決議証明を以って推薦届出書を提出して下さい。ガバナーノミニー(含む、デジグネート)の資格条件については、国際ロータリー細則第16条の16.010項(ガバナーノミニーの資格条件)、及び16.020項(ガバナーの資格条件)をご参照下さい。

尚、指名委員会が候補者を選出するにあたり、その範囲は地区内クラブによって推薦された候補者に限定されるものではないことをご了解下さい(国際ロータリー細則12.030.4)



オンラインツール活用への挑戦、 そして忘れてはならない事

国際ロータリー第 2790 地区

広報・公共イメージ向上委員会 委員長 吉田 正子
(大原 RC)

新型コロナウイルス禍により先が見えない現状で、各クラブにおかれましては何か月も例会・理事会が開催できない日々が続いていることと存じます。このような異例の事態は世界中でまったくの想定外であり、例会出席がロータリーの基本であると考え、ロータリアンにとってはとても悲しいものがあります。毎週この曜日は例会日と身体に染みついている例会です。友に会える楽しみを奪われ、他のクラブにメイクアップに行くこともできず、混沌とした日々を過ごされている会員が多いのではないのでしょうか。

先日、第2回会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会が地区で初めてオンライン形式で実施されました。4月29日に向けて限りある期間のなかでの対応は、幹事団のご苦労が多々あったかと存じます。大変お疲れ様でした。

その中で漆原摂子ガバナーは「デジタル化時代への適用力を高めましょう」という方針を出されました。もちろんオンラインで参加できない会員への配慮も大切であり、クラブ会員のロータリー及びクラブへ対する関心をはじめ、会員相互の親睦の心が途絶えることのないようにとの願いも示されております。

オンラインツールの活用について、クラブ奉仕・会員基盤向上委員会とも協議をしました。クラブの状況もさまざまですし、可能なクラブ、難しいクラブ等もある事でしょう。急激なデジタル化への傾倒は、デジタル・デバイド（情報格差）を生む懸念もごございます。ガバナーがおっしゃるようにクラブが主役です。クラブの内情に合わせてご検討頂き、ツールを活用する事になった場合にはクラブにとって良い方向に向くように所属会員の参加意欲が高まるような手法でお願いいたします。

すでにオンライン会議や会員コミュニケーションのためのツールを検討もしくは進めておられるクラブもあることでしょう。しかしながらこのようなツールは日々進化しておりセキュリティの脆弱性が指摘されている場合もありますので、常に最新動向を確認しながら進めていくことが求められます。当

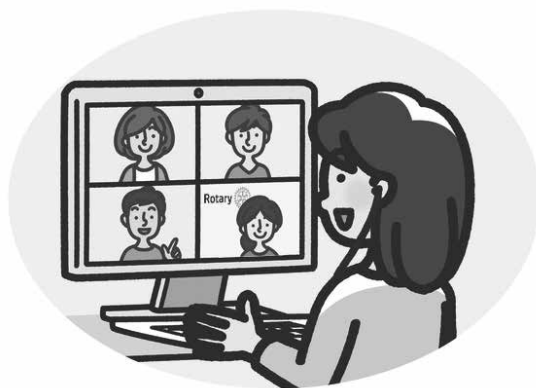
委員会でも、さまざまなツールの確認（特徴やメリット/デメリット等）をしておりますので検討中のクラブがございましたらお気軽にお問い合わせください。

(例) Microsoft Teams、スマートスタディ、Slack、Chatwork、Zoom、webEX、ベルフェイス等

また MyRotary のロータリーグローバルリワードのなかにいくつかのツールの詳細が掲載されております。検討の参考になさってみてはいかがでしょうか。

試しに使ってみたら意外と便利など新たな発見があるかもしれません。この機会にこのようなツールに挑戦してみることで世界がひろがり楽しい時間になる可能性もあります。例会再開までの間、打開策を講じてできることから始めてみませんか？そして、いつまたこのような事態が起きてもスムーズに対応できるように準備をしておくことも今後の必須課題なのではないのでしょうか。しかし忘れてはならないことはあくまでも通常例会が開催できない緊急時対応の手段であるということです。

当委員会では災害時情報共有ツールの検討も始めております。地区管理運営統括委員会での試験導入および評価を行い、クラブ内・クラブ間での情報共有の仕組みづくりを検討してまいります。



寄付者紹介（敬称略）

ロータリー財団寄付

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

新ベネファクター

ポリオ・プラス



杉 晟
(八千代 RC)
2 回目



宮 寛
(柏南 RC)
1 回目



秋葉 芳秀
(東金 RC)



諸岡 市郎左衛門
(成田 RC)

米山功労者



吉田 広行
(千葉幕張 RC)
5 回目



友野 俊政
(柏南 RC)
4 回目



戸部 謹爾
(柏南 RC)
3 回目



引地 素久
(四街道 RC)
3 回目



猫田 岳治
(柏南 RC)
2 回目



中村 隆則
(東金 RC)
1 回目



齊藤 三智夫
(成田 RC)
1 回目

新ロータリアン（敬称略）



久土地 剛
(八千代 RC)
自動車整備業
4 月 1 日入会



君塚 桂一
(八千代 RC)
銀行業
4 月 1 日入会



千葉 信哉
(柏西 RC)
証券業
5 月 8 日入会



川崎 浩二
(市原中央 RC)
地方銀行
5 月 12 日入会



大野 剛生
(市原中央 RC)
保険代理業
5 月 12 日入会



田久保 吉則
(習志野 RC)
ガソリンスタンド
5 月 13 日入会



久保木 尚志
(四街道 RC)
地方銀行
6 月 2 日入会



瑛川 八千代
(館山 RC)
日本舞踊
6 月 3 日入会



相原 米夫
(館山 RC)
料理店(中華)
6 月 3 日入会



小高 栄二
(館山 RC)
商業銀行
6 月 3 日入会



中嶋 敏彰
(柏 RC)
商業銀行
6 月 3 日入会



村上 恵理也
(松戸 RC)
保育園
6 月 3 日入会



木村 健二
(松戸 RC)
歯科技工士
6 月 3 日入会



渡部 忠
(松戸 RC)
都市銀行
6 月 3 日入会



石井 禎
(船橋みなと RC)
損害保険
6 月 9 日入会



栗原 勉
(市原中央 RC)
ホテル
(観光、宴会、レストラン)
6 月 9 日入会

（公財）ロータリー米山記念奨学会ニュース（ハイライトよねやま243号）

今月のトピックス

- ・奨学生からの FAQ — コロナ禍の中で —
- ・博士号取得状況
- ・寄付金速報 — 今年度は30日着金分まで —
- ・学友によるマスク支援 第2報
- ・2021年台北国際大会に参加しましょう！

《今月のピックアップ記事》

学友によるマスク支援 第2報

★第2770地区★

第2770地区（埼玉県南東部）米山学友会が5月24日、県内にある2箇所の高齢者福祉施設へマスクを寄贈しました。「介護施設などコロナの最前線で働く方々に対して、米山学友会として何かできないだろうか？」との思いから、この企画がスタート。海外在住者を含む同学友会会員から寄せられた寄付金を原資に、春日部市および越谷市の高齢者福祉施設へ計10,500枚のマスクを寄贈しました。同施設には毎年、地区米山奨学委員会の指導のもと、現役奨学生と学友会が慰問奉仕活動をしています。

★第2760地区★

第2760地区（愛知県）でも5月21日、米山奨学生・学友会と地区米山委員会が共同で、要介護高齢者の介護医療院など5つの施設へ計5,000枚のマスクを寄贈しました。「コロナウイルスに負けず、少しでも皆さんの励みになれたらとの思いを込めました」と、会長の林チョンさんは語ってくださいました。

そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。→ http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight243_pdf.pdf

国際ロータリー第 2790 地区（千葉）出席・会員数報告（2020 年 5 月）

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会 数	会員数				
				2019 7/1	女性	当月	女性	増減
第1グループ	市川	0.00	0	42	3	41	4	△1
	市川東	0.00	0	42	2	39	2	△3
	市川南	0.00	0	23	2	23	2	0
	浦安	0.00	0	42	1	43	1	1
	市川シビック	0.00	0	33	0	33	0	0
	浦安ベイ	0.00	0	15	0	14	2	△1
第2グループ	平均	0.00	0.00	32.83	1.33	32.17	1.83	△4
	船橋	0.00	0	30	0	30	0	0
	船橋西	0.00	0	39	7	33	7	△6
	鎌ヶ谷	0.00	0	30	2	26	1	△4
	船橋東	0.00	0	29	2	28	2	△1
	船橋南	0.00	0	11	1	13	2	2
第3グループ	船橋みなと	0.00	0	18	4	18	4	0
	平均	0.00	0.00	26.17	2.67	24.67	2.67	△9
	千葉	0.00	0	96	3	100	5	4
	新千葉	0.00	0	55	0	54	0	△1
	千葉西	0.00	0	50	4	54	6	4
	千葉中央	0.00	0	27	0	26	0	△1
第4グループ	千葉幕張	0.00	0	34	3	37	4	3
	千葉東	0.00	0	29	2	26	1	△3
	千葉若潮	0.00	0	30	1	31	1	1
	平均	0.00	0.00	45.86	1.86	46.86	2.43	7
	千葉南	0.00	0	47	7	51	5	4
	市原	0.00	0	52	4	60	5	8
第5グループ	千葉港	0.00	0	25	4	27	4	2
	市原中央	0.00	0	47	1	46	1	△1
	千葉北	0.00	0	29	4	30	4	1
	千葉緑	0.00	0	21	1	23	2	2
	平均	0.00	0.00	36.83	3.50	39.50	3.50	16
	木更津	0.00	0	31	5	28	4	△3
第6グループ	上総	0.00	0	14	0	15	0	1
	富津中央	0.00	0	35	2	38	5	3
	木更津	0.00	0	44	5	46	7	2
	君津	0.00	0	57	5	53	5	△4
	袖ヶ浦	0.00	0	24	4	26	4	2
	富津シティ	0.00	0	14	1	14	1	0
第7グループ	平均	0.00	0.00	31.29	3.14	31.43	3.71	1
	館山	0.00	0	46	4	47	4	1
	鴨川	0.00	0	34	5	32	5	△2
	勝浦	0.00	0	41	5	43	5	2
	千倉	50.00	3	4	2	4	2	0
	鋸南	0.00	0	15	2	15	2	0
第8グループ	館山ベイ	0.00	0	24	0	25	0	1
	平均	8.33	0.50	27.33	3.00	27.67	3.00	2
	茂原	0.00	0	58	4	60	4	2
	東金	0.00	0	19	1	20	2	1
	大原	0.00	0	10	1	10	1	0
	大原喜	0.00	0	5	1	6	1	1
第9グループ	成田空港南	0.00	0	31	0	29	0	△2
	茂原中央	0.00	0	20	2	22	2	2
	大網	0.00	0	29	1	30	2	1
	東金ビュー	0.00	0	16	1	16	1	0
	平均	0.00	0.00	23.50	1.38	24.13	1.63	5

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会 数	会員数				
				2019 7/1	女性	当月	女性	増減
第8グループ	銚子	0.00	0	39	3	39	4	0
	旭	81.60	3	43	4	42	4	△1
	八日市場	75.00	1	38	3	40	3	2
	銚子東	0.00	0	33	2	32	2	△1
	平均	39.15	1.00	38.25	3.00	38.25	3.25	0
第9グループ	佐原	0.00	0	48	0	48	0	0
	多古	81.25	3	16	0	19	0	3
	小見川	0.00	0	27	0	27	0	0
	佐原香取	0.00	0	24	1	23	0	△1
	平均	20.31	0.75	28.75	0.25	29.25	0.00	2
第10グループ	成田	0.00	0	65	4	67	4	2
	八街	0.00	0	30	3	30	3	0
	印西	0.00	0	16	1	16	1	0
	白井	0.00	0	12	1	11	1	△1
	富里	0.00	0	30	0	32	1	2
	成田コスモポリタン	0.00	0	67	0	73	0	6
第11グループ	平均	0.00	0.00	36.67	1.50	38.17	1.67	9
	柏	0.00	0	65	10	64	9	△1
	我孫子	68.75	1	31	3	32	3	1
	柏西	0.00	0	64	3	59	3	△5
	柏東	0.00	0	41	8	36	6	△5
	柏南	0.00	0	41	9	39	9	△2
第12グループ	平均	13.75	0.20	48.40	6.60	46.00	6.00	△12
	習志野	0.00	0	24	1	32	1	8
	八千代	0.00	0	52	0	54	0	2
	佐倉	0.00	0	37	3	38	3	1
	八千代中央	0.00	0	23	1	25	1	2
	四街道	0.00	0	29	4	27	4	△2
第13グループ	習志野中央	0.00	0	47	4	47	5	0
	佐倉中央	58.70	2	23	5	23	6	0
	平均	8.39	0.29	33.57	2.57	35.14	2.86	11
	松戸	0.00	0	60	0	57	0	△3
	松戸東	0.00	0	49	0	48	0	△1
	松戸北	0.00	0	33	0	33	0	0
第14グループ	松戸中央	100.00	4	42	7	43	7	1
	松戸西	75.00	2	29	0	28	0	△1
	平均	35.00	1.20	42.60	1.40	41.80	1.40	△4
	野田	0.00	0	54	6	55	6	1
	流山	0.00	0	14	3	16	3	2
	野田東	0.00	0	18	0	18	0	0
第15グループ	流山中央	0.00	0	21	2	22	2	1
	野田セントラル	96.00	1	25	1	25	1	0
	平均	19.20	0.20	26.40	2.40	27.20	2.40	4

クラブ数 82RC		
2019 年 7 月 1 日	地区会員数	2,777 人
2020 年 5 月 末日	地区会員数	2,805 人
2019 年 7 月 1 日	地区女性会員数	201 人
2020 年 5 月 末日	地区女性会員数	214 人
当月平均出席率		7.31%
増減		28
女性会員増減		13

物故会員（啓略略）



目黒 清之（鋸南 RC）
逝去日：2020 年 6 月 7 日（享年 78 歳）
入会日：2013 年 11 月 2 日

ロータリーレートのご案内

ロータリーレートのご確認につきましては、「地区HP」をご確認いただきますようお願い申し上げます。

↓地区HP





新型コロナウイルスに対する ロータリーの取り組み事例

国際ロータリー第 2790 地区

補助金プロジェクト小委員長 委員長 浅野 肇
(柏西 RC)

日本国内のロータリークラブによる新型コロナウイルス COVID-19 に対する取り組みを、ハッシュタグ「# ロータリーによる対応」で各 SNS から検索しました。詳細は検索をお願いします。もちろん奉仕活動を行っているクラブは第 2790 地区各クラブを始め、全国に多々ありますが、今日、ロータリーは活動をするだけでなく、活動した事を広く公開する事が重要である時代という事を実感します。

・第 2660 地区（大阪）交野ロータリークラブ (5/20)

交野 RC が、交野市の黒田実市長を訪問し、新型コロナウイルス対策のための不織布マスク「20,000 枚」の贈呈式が行われました。マスクは交野市を通じて、医療関係、福祉関係、こども関係、市業務関係に配られます。

一日も早く新型コロナウイルスの感染拡大が収束し、平穏な日常が戻りますようお願いとともに、今後も交野 RC は支援を続けていきます。

・第 2580 地区（東京）東京東村山ロータリークラブ (5/19)

東京東村山 RC より東村山市役所に、サージカルマスク 2,500 枚、フェイスシールド 100 枚の目録を贈呈。市の備蓄していたマスクなどは、医療用に放出し、市で使用するものがないのが現状です。

・第 2660 地区（大阪）東大阪東ロータリークラブ (5/19)

5 月 18 日に東大阪市へマスクとフェイス・シールドを寄贈しました。当日は市長同席の元、寄贈式を行いました。フェイス・シールドは姉妹クラブであるタイのヤンナワ RC より寄贈してもらいました。この姉妹クラブとの連携は正に今年のテーマである「ロータリーは世界をつなぐ」であると思いました。

・第 2590 地区（横浜・川崎）川崎高津ロータリークラブ (5/12)

先月初め、川崎高津 RC は、新型コロナ流行の中で不足する輸血用血液を集めるため献血活動を実行しました。人通りが少ない中、日本赤十字社と協力して感染予防対策を徹底したこともあり、

例年より多くの血液が集まりました。人のつながりを示す活動となりました！

・第 2650 地区（奈良）奈良ローターアクトクラブ (4/30)

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で厳しい生活を強いられている子育て家庭を支援しようと、NPO 法人「フードバンク奈良」（斑鳩町）、奈良 RC（奈良市）、奈良ローターアクトクラブ（同）が 29 日、常温で保存できる食品などを詰め合わせた箱を県内 100 世帯に発送した。同法人の平川理恵副代表は「少しでも幸せな気持ちになってもらえたら」と話した。

・第 2820 地区（茨木）水戸市内 6 ロータリークラブ (4/25)

新型コロナウイルスの感染予防に役立ててほしいと、水戸市内の水戸、水戸西、水戸東、水戸さくら、水戸好文の各ロータリークラブは 22 日、水戸市にマスク 3 万 8 千枚を寄付した。6 クラブの会長、幹事らが同日、市役所を訪れ、高橋靖市長に目録を手渡した。

・第 2700 地区（福岡）行橋ロータリークラブ (4/19)

福岡県行橋市のまちづくりグループ「行橋未来塾」（江本満代表）と行橋 RC（志村俊郎会長）は 20 日から 3 日間、市内とみやこ町で弁当を無料配布する。子どもや家族、新型コロナウイルスで経済的にダメージを受けた人が対象。

・第 2610 地区（石川）白山ロータリークラブ (4/15)

白山市の白山 RC は 14 日、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、除菌効果がある次亜塩素酸水の生成機器の導入支援に乗り出した。市周辺で希望する保育所など 10 カ所を募り、初期費用として 1 件当たり 5 万 5 千円を助成する。同クラブは「住民の不安を少しでも払しょくすることに役立てばうれしい」と応募を呼び掛けている。

各クラブにおかれましては、新型コロナ肺炎の第 2 波、第 3 波に対する有効なプロジェクトを、クラブ独自または、補助金を利用することも含め検討いただき、今後の対策等をご検討いただけることを期待しております。

ロータリー青少年交換生募集

2020-21 年度 国際ロータリー第2790地区 青少年交換プログラム



高校生親善大使として留学してみませんか？
世界のロータリーがサポートします。
短期交換&長期交換プログラムがあります。



rotary
youth
exchange



申込期限 2020年8月10日(月) 当日消印有効
申込先 スポンサーとなるロータリークラブ宛
募集要項 詳細は下記サイトからお申し込み後、メールにて送付します
派遣時期 短期2021年7月 長期2021年8月
費用 往復の渡航費、保険、出発までのオリエンテーション費等は自己負担
お問合せ 国際ロータリー第2790地区青少年交換小委員会
E-mail youth-exchange.2790@outlook.jp
詳しくはホームページをご覧ください <http://www.rid2790.jp/>



申込入力サイトはこちら
<https://riyec.org/excs/index.php?d=2790>